

平成 27 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地病院実習

実習生：品川 兼一

実習先：長崎県五島中央病院 指導医：村瀬 邦彦 先生

実習期間：平成 28 年 1 月 4 日（月）～1 月 29 日（金）

実習報告：

今回離島・僻地医療の実習で派遣された五島中央病院は、五島市の中核病院として地域医療を支えています。私の専門である歯科口腔外科は残念ながらありませんが、普段見ることがない内科や外科などの医療現場や、離島ならではの医療体制を体験させて頂きました。

五島中央病院では上下内視鏡検査や、気管支鏡検査、膿胸ドレナージや胆管ステント留置など様々な検査や処置、肝臓がんや大腸がんなどの外科手術の見学、救急搬送された CPA の患者への対応など様々な経験をいただきました。実際に検査や処置を行っている様子を見て手技や処置の大変さや、患者の状態によって臨機応変な対応などの先生方の配慮や工夫がわかり、よく分からないところも先生方から丁寧に教えていただき大変勉強になりました。院内では各科の先生間での意思疎通が図られており、難症例に対してはすぐに他科の相談できるような環境ができており、どんな患者でも何とか五島中央病院で解決しようという先生方の気概を感じました。また、普段より他病院との連携も十分図られており、どうしても五島中央病院で治療が困難な症例に対しては大村の長崎医療センターなどの他病院へドクターヘリで搬送したりしていました。



雪の中の五島中央病院



ドクターヘリでの患者搬送



膿胸に対する胸腔ドレナージ



病理検討会

口腔領域に関しては、週1回の摂食嚥下ラウンドや入院患者の口腔ケアをさせて頂きました。摂食嚥下ラウンドは患者の状態によってベッドサイドで嚥下機能の評価・訓練を行ったり、外来にて嚥下内視鏡検査(VE)を行ったりしていました。依頼があった入院患者に対する口腔ケアも行いました。口腔ケアを行うことで入院患者の入院期間の短縮や合併症の予防が指摘されていますが、看護師など病院スタッフは多忙のため十分な口腔ケアが行えているとは言い難いのが実情です。私たち歯科医師や歯科衛生士がもっと積極的に関わっていく必要性を感じました。



摂食嚥下ラウンド



入院患者の口腔ケア

五島中央病院に実習中に久賀島の診療所に行く機会がありました。長崎県は全国で最も島が多い県で、大小多くの島々に住んでいる人がいます。久賀島は五島中央病院のある福江島のすぐ北にあります。のんびりとして自然豊かな島ですが、診療所はあるものの常勤する医師がおらず、定期的に五島中央病院や開業医の先生方が交代で週に3回程、診療所に来られて診察されています。歯科医の先生も週に1回来られて診察されていますが、予約が取りにくいなどの問題点もあるそうです。また、島の住民の体調が急変した場合には、在住している看護師や住民の方々が協力して船で福江島まで搬送しているそうです。地域の過疎化、高齢化が進む中、医療を継続する難しさと課題を実感しました。

五島中央病院での研修を通して大学と離島での医療環境の違いも大きく、その地域や病院にあった医療を提供すること、普段から他の医療機関と連携を取り合い、協力体制を築くことの重要性を実感しました。今回の実習で得た経験を今後の実際の臨床で役立てていきたいと思えます。



船で久賀島へ

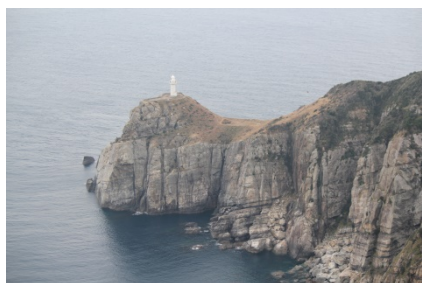


久賀島診療所



診療所の診察風景

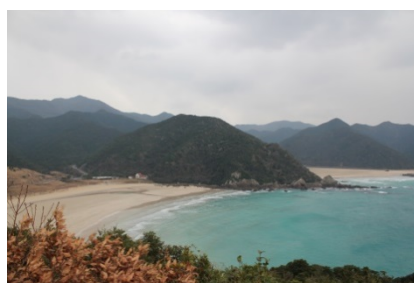
五島(福江島)は自然豊かな島で海の幸が豊富です。歴史もあり島内には遣唐使として寄港した空海の史跡や、江上天主堂や旧五輪教会堂をはじめとするキリスト教関連施設も多くあります。滞在期間中はあいにく天候が悪い日が多く、五島の豊かな自然を満喫できなかったのも、また別の機会に訪れたいと思いました。



大瀬崎灯台(日本の灯台 50 選)



鏡瀬熔岩海岸



高浜海水浴場(日本の渚百選)



空海記念碑「辞本涯」



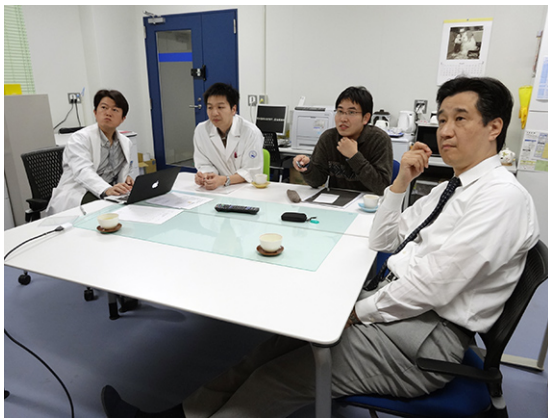
明星院(空海が命名)



三井楽教会



医局の先生方との釣果



報告会にて